

パソコンサービス（ADP方式）のご紹介

（企業様向け）

株式会社 佐賀銀行

はじめに

1. 新サービス パソコンサービス (ADP方式) の取扱開始について	P 2
2. パソコンサービス (ADP方式) の概要について	P 3
3. パソコンサービス (ADP方式) のメリットについて	P 4
4. ファイル伝送方式について	P 5
5. ご利用開始までの流れ	P 6
6. サービスとご利用料金の流れ	P 8
7. ご利用料金について	P 9
8. お客様のご対応事項	P 10
9. ご利用時間について	P 12
10. (参考1)照合データ インタフェース仕様	P 13
11. (参考2)受付状況照会データ インタフェース仕様	P 15
12. お問い合わせ先	P 20

新サービスパソコンサービス（ADP方式）の取扱開始について

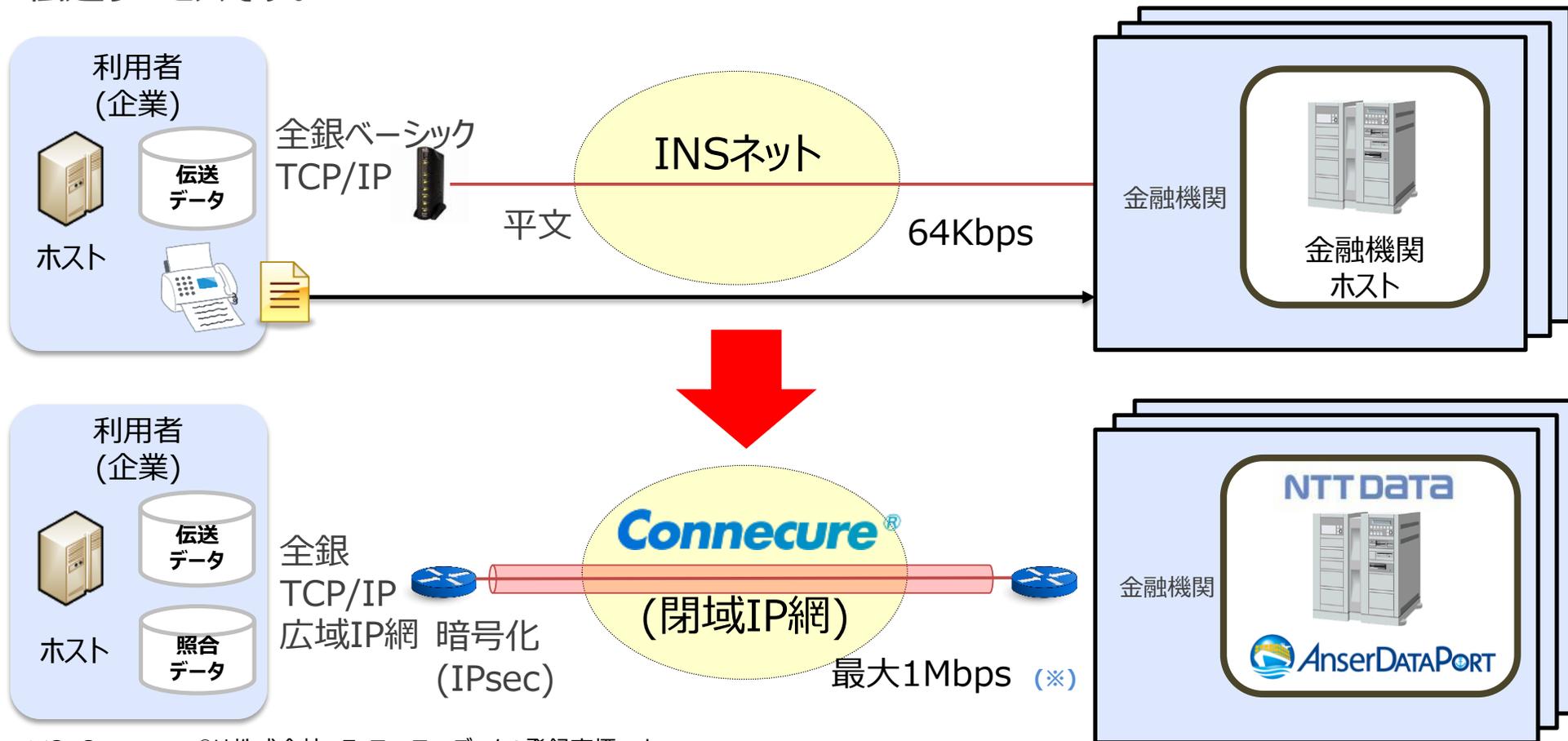
N T T 東日本、N T T 西日本は、2024年1月にINSネットの『デジタル通信モード』終了、及び、固定電話のIP網移行を予定しています。それに伴い、現在ご利用の「パソコンサービス」は終了いたします。後継サービスとして、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（以下「N T T データ」）のAnserDATAPORT®※を利用したパソコンサービス（ADP方式）の取扱いを開始します。

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
INSネット デジタル通信モード						▲ 2024年1月 にて終了
固定電話のIP網化 (INS、アナログ)						▲ 2024年1月 よりIP化
パソコンサービス						
パソコンサービス（ADP 方式）取扱開始						

※ AnserDATAPORT®は株式会社エヌ・ティ・ティ・データの登録商標です

パソコンサービス（ADP方式）の概要について

パソコンサービス（ADP方式）（以下、ADP）は企業様と金融機関との安全な取引を実現するファイル伝送サービスです。



※2 Conneecure®は株式会社エヌ・ティ・ティ・データの登録商標です

回線に関するお問い合わせは金融機関ではなく、NTTデータの**Conneecure回線窓口（P.20参照）**にご連絡ください。

パソコンサービス（ADP方式）のメリットについて

パソコンサービス（ADP方式）には、次のようなメリットがあります

① 高いセキュリティ

通信経路はすべて閉域網、かつ、暗号化されています

② 大量のデータ伝送が可能

Connecureの帯域を利用（最大1Mbps※）するため、大量のデータを短時間で伝送できます

※選択する回線種別により変動します ※ISDN回線は64Kbps

導入実績例：（明細10万規模の場合）INSネット（ISDN回線を利用）20分 ⇔ AnserDATAPORT 1.5分

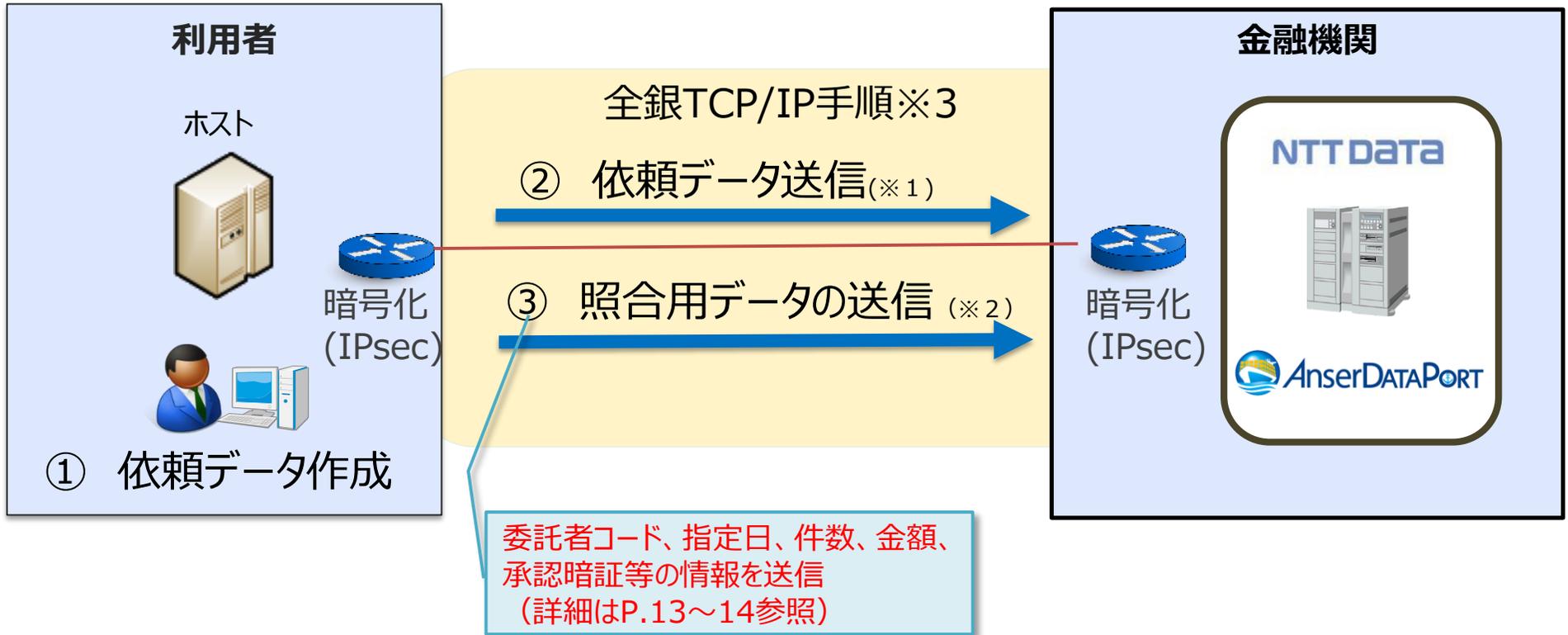
③ 伝送方法の統一が可能

複数の金融機関に対して、同一回線、同一手順で伝送できます

※当行以外は該当金融機関に直接お問い合わせください

ファイル伝送方式について

企業様からファイル伝送いただく方法は以下の通りです。



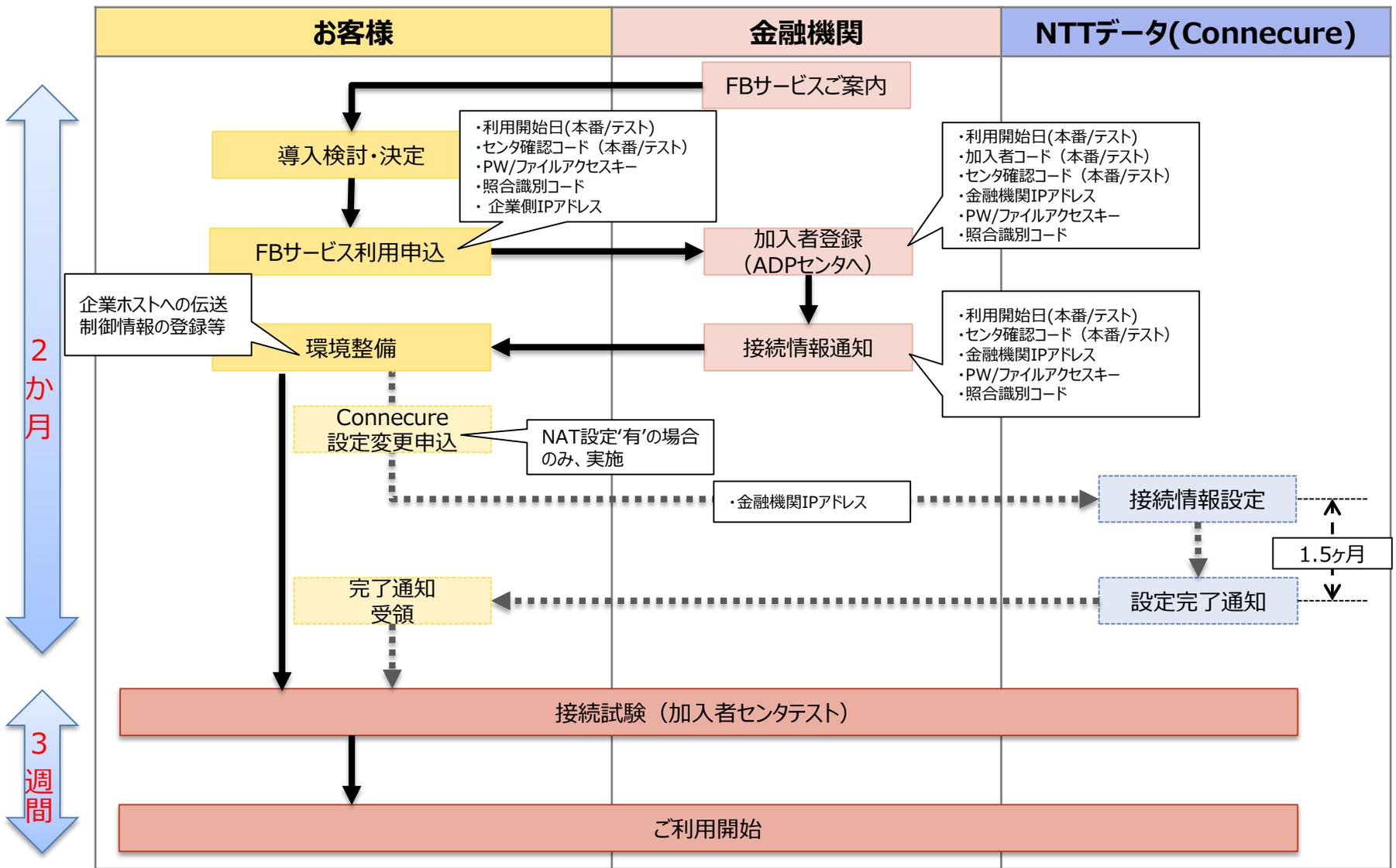
※1 依頼データは金融機関単位で作成いただき、金融機関ごとに伝送ください。

※2 照合対象となる種別は、総合振込、給与振込、賞与振込、口座振替です。その他のファイルは不要です。

※3 ルータ間にて暗号化することで、既存の全銀TCP/IP手順を流用しつつ、全銀TCP/IP手順広域IP網版の対応が可能となります。

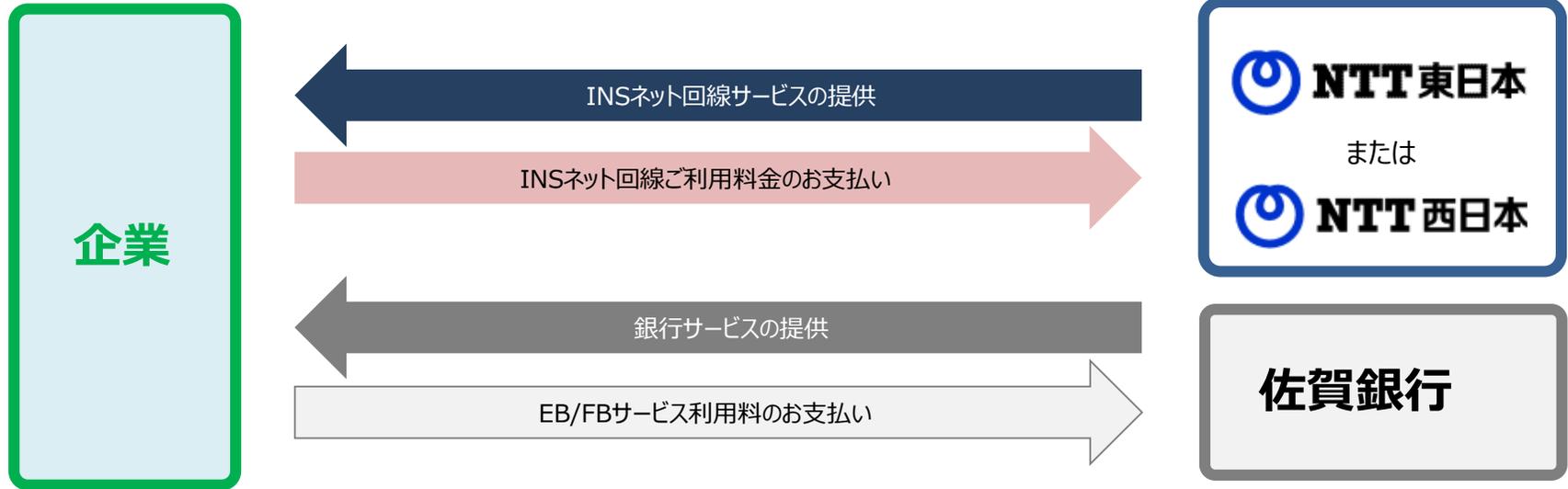
ご利用開始までの流れ (Connecure敷設済の場合)

他金融機関で既にAnserDATAPORTご利用などで、Connecure回線がある場合におけるご利用開始までの流れは下記の通りです。 ※NAT変換「有り」の場合には当行へのお申込みの他、NTTデータへの設定変更申込が必要です。

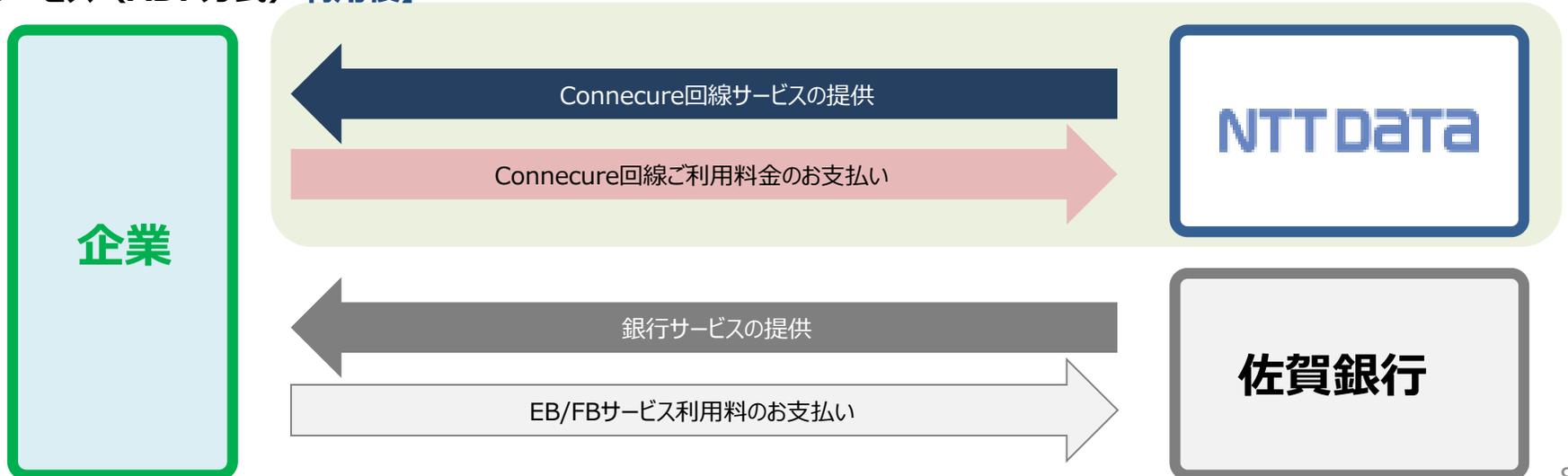


サービスとご利用料金の流れ

【パソコンサービス（ADP方式）利用前】



【パソコンサービス（ADP方式）利用後】



ご利用料金について

パソコンサービス（ADP方式）のご利用にかかる料金は、次のとおりです。

パソコンサービス（ADP方式）利用料

登録料		22,000円（税込）
月額	月額基本料金	33,000円（税込）
	明細照会料※1	5円／件 およびその合計額にかかる消費税

※1 取引明細照会サービスをご利用いただく場合

Connecure回線料金

選択するプランに応じて料金は異なります。（税込）

初期費用	203,500円～262,130円
月額料金	10,780円～198,000円

※詳細はNTTデータへお問い合わせください。

<http://nws.jp.nttdata.com/connecure/>

お客様のご対応事項

パソコンサービス（ADP方式）のご利用にかかるお客さまの主な対応事項は、次のとおりです。

事前準備における対応事項

フェーズ	項目	対応内容
導入準備、申込	Conneccure利用申込	<ul style="list-style-type: none">・NTTデータへConneccureの利用申込を提出いただきます。・NTTデータより、企業側IPアドレスの通知を受けます。
	パソコンサービス（ADP方式）利用申込	<ul style="list-style-type: none">・データ伝送サービス利用申込書を当行に提出いただきます。・当行より、パソコンサービス（ADP方式）の利用に必要な情報（センタ確認コード・パスワード・ファイルアクセスキー等）の通知を受けます。
	運用検討	<ul style="list-style-type: none">・ファイル伝送エラーや受付チェックエラー時の対応等含め、企業内の運用フローについて検討ください。
回線準備、環境構築	回線敷設 回線疎通試験	<ul style="list-style-type: none">・回線敷設工事の立ち合いや、ルータ設置後の結線等の対応をお願いします。・回線工事、疎通試験完了後、NTTデータより完了通知を受けます。
	照合データの作成	<ul style="list-style-type: none">・依頼データに対応する照合データを作成し、送信する仕組みを構築いただきます。■ EBNext2(NTTデータ四国社製EBサービス専用ソフト)をご使用の場合は、有償でソフトウェアのバージョンアップ(EBNext2 DX)を行っていただきます。
	ファイル伝送基盤構築 および環境整備	<ul style="list-style-type: none">・全銀TCP/IP手順によるデータ伝送基盤を構築いただきます。■ EBNext2(NTTデータ四国社製EBサービス専用ソフト)をご使用の場合は、有償でソフトウェアのバージョンアップ(EBNext2 DX)を行っていただきます。・当行とのデータ伝送のために必要な伝送制御情報をお客さまの環境に設定いただきます。

お客様のご対応事項

試験における対応事項

フェーズ	項目	対応内容
試験	接続試験	<p>・企業センタとのネットワーク機器の相性や、ファイル内容の正当性確認を目的とし、テストを実施します。</p> <p>※試験の実施にあたっては事前に当行との調整が必要となります。</p> <p>※1回の伝送における依頼データ件数は10件までとさせていただきますようお願いいたします。</p>

ご利用時間について

ご利用時間

月曜日～金曜日（祝日、12/31、1/1～1/3を除く）
7：00～21：00

	データ送信期限	
	当行宛てのみ	他金融機関宛てを含む
給与振込	振込指定日の前営業日 16：00	振込指定日の3営業日前 16：00
総合振込	振込指定日の前営業日 16：00	
預金口座振替	振替指定日の3営業日前 18：00	—

(参考1) 照合データ インタフェース仕様

照合データ内容の詳細を以下に記載します。

(1) 照合データ レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとする。

(2) 照合データ レコード構成

ヘッダ	データ	……	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	----	-----	------	-----

照合データ（取消）は、依頼データ1ファイルに対し、1ファイル作成してください。また、対応する依頼データの1サブファイルに対し、照合データのデータレコードを1件作成して下さい。

(3) 照合データ レコードフォーマット

ヘッダレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「1」：ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	2	預金口座振替：9 1 総合振込：2 1 給与振込：1 1 賞与振込：1 2
3	伝送日	N(8)	8	依頼データ伝送日を表す。YYYYMMDD（年-月-日）
4	伝送サイクルコード	N(2)	2	依頼データ伝送時のサイクルコードを表す。右詰め残り前「0」
5	照合識別コード	C(6)	6	照合者が正当であるかどうかを確認するためのコードを表す。
6	取消実施区分	C(1)	1	取消実施有無を設定する。「スペース」：照合実施「1」：取消実施
7	ダミー	C(100)	100	ダミーエリア（初期値）

(参考1) 照合データ インタフェース仕様

データレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「2」: データレコード
2	引落日・取組日 振込指定日	N(4)	4	依頼データの引落日・取組日・振込指定日を表す。MMDD (月-日)
3	委託者コード 会社コード 振込依頼人コード	N(10)	10	銀行が定めた委託者、振込依頼人、会社コードを表す。 右詰め残り前「0」
4	合計件数	N(6)	6	依頼データの合計件数を表す。右詰め残り前「0」
5	合計金額	N(12)	12	依頼データの合計金額を表す。右詰め残り前「0」
6	ダミー	C(87)	87	ダミーエリア (初期値)

トレーラレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「8」: トレーラレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア (初期値)

エンドレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「9」: エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア (初期値)

(参考2) 受付状況照会データ インタフェース仕様

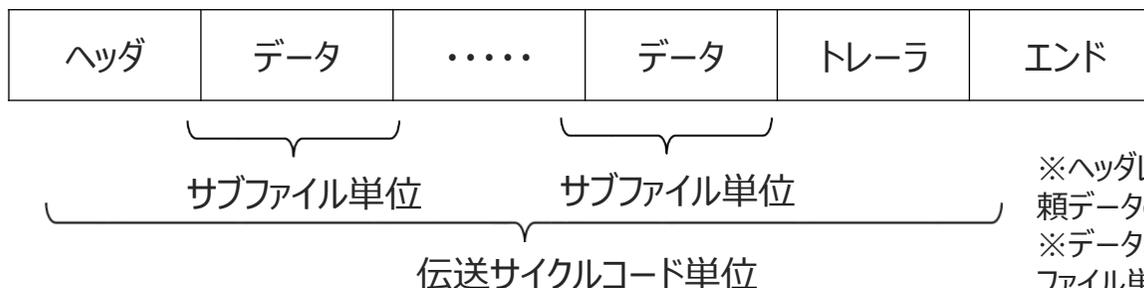
依頼データの照合状況（照合済であるか、未照合であるか等）を確認するために、受付状況照会データを取得可能です。未照合の状態のまま、照合期限が到来することを未然に防ぐためにご活用ください。詳細は以下の通りです。

(1) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとする。

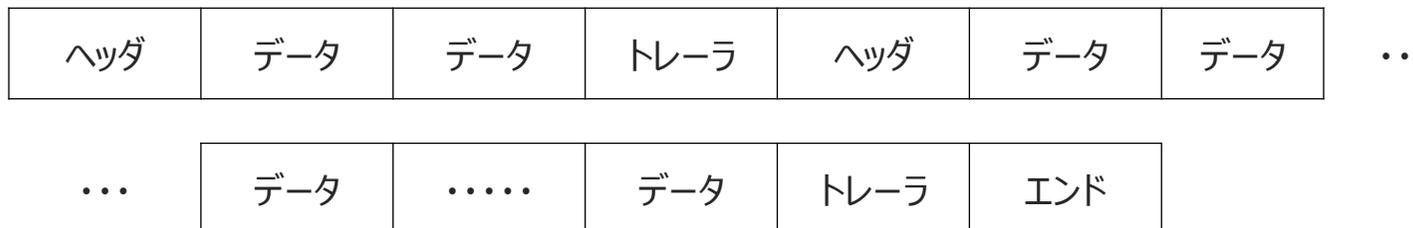
(2) 受付状況照会データ レコード構成

A. シングルサブファイル

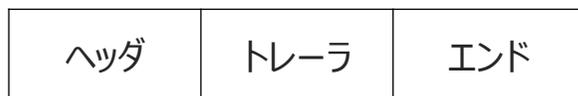


※ヘッダレコードは「依頼データの伝送日時+依頼データの伝送サイクルコード」単位に作成する。
※データレコードは伝送サイクルコード内のサブファイル単位に作成する。

B. マルチサブファイル



C. ダミーデータ



(参考2) 受付状況照会データ インタフェース仕様

(3) 照会データ レコードフォーマット

ヘッダレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「1」：ヘッダレコード
2	金融機関コード	N(4)	4	金融機関コードを表す。
3	加入者コード	C(14)	14	加入者コードを表す。
4	ファイル名	C(12)	12	預金口座振替（依頼明細）「502001910000」 総合振込「502001210000」 給与振込「502001110000」 賞与振込「502001120000」
5	依頼データ 伝送日時	N(12)	12	照会対象の依頼データの伝送日時を表す。 YYYYMMDDHHMM（年-月-日-時-分）
6	依頼データ伝送 サイクルコード	N(2)	2	照会対象の依頼データの伝送サイクルコードを表す。
7	照会日時	N(12)	12	受付状況の照会日時を表す。 YYYYMMDDHHMM（年-月-日-時-分）
8	照会回数	N(2)	2	照会日付単位に照会回数を表す。
9	当方センタ 確認コード	C(14)	14	本システムのセンタ確認コードを表す。
10	相手センタ 確認コード	C(14)	14	加入者センタのセンタ確認コードを表す。

(参考2) 受付状況照会データ インタフェース仕様

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
11	受付状態	C(1)	1	<p>照会対象の依頼データの受付状態を表す。 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「2」(照合不要) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ)</p> <p>※依頼データの伝送サイクルコード単位の情報 ※加入者契約情報の照合データの利用可否を変更(「利用しない」から「利用する」、または「利用する」から「利用しない」)した場合は、変更前に集信した依頼データの受付状態が設定される。</p>
12	照合時限日時	N(12)	12	<p>・受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、当該伝送サイクルコードにおける依頼データの照合時限日時を表す。 YYYYMMDDHHMM (年-月-日-時-分) ・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 YYYYMMDDHHMM (年-月-日-時-分) ・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 YYYYMMDDHHMM (年-月-日-時-分)</p> <p>※依頼データの伝送サイクルコード単位の情報 ※受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル内で最も早い照合期限を表示する。 ※受付状態が「2」(照合不要)の場合は、オール0を設定する。</p>
13	ダミー	C(20)	20	ダミーエリア(初期値)

(参考2) 受付状況照会データ インタフェース仕様

データレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「2」: データレコード
2	サブファイル通番	N(5)	5	照会対象の依頼データのサブファイル通番を表す。
3	委託者コード 振込依頼人コード 会社コード	C(12)	12	委託者コード (10桁)、振込依頼人コード (10桁) 会社コード (10桁) のいずれか +スペース (2桁)
4	引落指定日 取組日 振込指定日	N(4)	4	照会対象の依頼データに設定されている引落指定日、取組日、 振込指定日を表す。MMDD (月-日)
5	合計件数	N(6)	6	照会対象の依頼データに設定されている合計件数を表す。
6	合計金額	N(12)	12	照会対象の依頼データに設定されている合計金額を表す。
7	受付状態	C(1)	1	照会対象の依頼データの受付状態を表す。 <ul style="list-style-type: none"> ・照合を行う加入者センタの場合 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ) ・照合を行わない加入者センタの場合 「2」(照合不要) <p>※依頼データのサブファイル単位の情報 ※加入者契約情報の照会データの利用可否を変更 (「利用しない」から「利用する」、または「利用する」から「利用しない」) した場合は、変更前に集信した依頼データの受付状態が設定される。</p>

(参考2) 受付状況照会データ インタフェース仕様

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
8	照合時限日時	N(12)	12	<ul style="list-style-type: none"> 直近のヘッダレコードの受付状態が「0」（未照合）または「9」（照合時限切れ）の場合、サブファイル単位の照合時限日時を表す。 受付状態が「1」（照合済）の場合、照合日時を表す。 受付状態が「3」（取消済）の場合、取消日時を表す。 YYYYMMDDHHMM（年-月-日-時-分） <small>※同一伝送サイクルコードにおけるサブファイル単位の情報 ※受付状態が「2」（照合不要）の場合は、オール0を設定する。</small>
9	ダミー	C(67)	67	ダミーエリア（初期値）

トレーラレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「8」：トレーラレコード
2	データレコード件数	N(5)	5	データレコードの件数を表す。
3	ダミー	C(114)	114	ダミーエリア（初期値）

エンブレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。「9」：エンブレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア（初期値）

お問い合わせ先

パソコンサービス(ADP方式)、お申込、料金に関するお問い合わせ

株式会社佐賀銀行 EBサポートセンター
電話番号：0120-74-2525
電話受付時間：平日 9時～18時

Connecure回線のサービス、お申込、料金に関するお問い合わせ

株式会社NTTデータ ビジネスソリューション事業本部
ネットワークソリューション事業部 営業担当 (Connecure窓口)
電話番号：050-5546-9751
メールアドレス：connecure_sales@kits.nttdata.co.jp
ホームページ：<http://nws.jp.nttdata.com/connecure/>

【免責事項】

この提案書は、2021年7月31日時点の情報で作成しております。今後の制度・商品の変更等により、内容が変更となる場合があります。